

41年連続出場
全員で戦えた

男子・佐用

○…41年連続出場の男子・佐用は実力を出し切れず38位に終わり、豊富な大会経験を生かせなかった。

そうした中、力走を見せたのは区間27位に入ったアンカー嶋田悠佑選手(2年)。「最後は意地で走りました。全員が本来の実力を出せば、次は違う結果になる」と振り返った。

井上友康主将(同)



男子・佐用1区小林幹太選手(左)からたすきを受ける2区中野太聖選手=いずれも篠山市内(撮影・小林良多)

西播勢は龍野男子18位



女子・龍野2区高見香澄選手(左)からたすきを受ける3区青山友葵選手

けが人続出
再起を誓う

女子・龍野

は「チームの長所はまとまりがあるところ。タイムは伸びなかったが、チーム全体で戦えたと思う」と仲間をたたえた。

(那合享平)

○…大会前にけが人が続出した女子・龍野は悔しい25位。2区の

高見香澄選手(2年)が健闘し、順位を三つ上げるも、昨年の23位に届かなかった。

1年ながら大舞台で1区を担ったエース栗山華穂選手は「スタートで遅れ動揺した。自分の仕事ができなかった」と声を落とした。

けがで欠場した森沢穂乃香主将(2年)は「みんな結果に納得していない。次の大会は万全のチームで臨みたい」と再起を誓っていた。

(那合享平)

7 スポーツ

2014年(平成26年)11月3日 月曜日

神戸新聞

(第3種郵便物認可)

兵庫県高校駅伝競走大会成績・男子

(丸中数字は中継順位、数字は区間順位)

校名	総合時間	1区(10%)	2区(3%)	3区(8.1075%)	4区(8.0875%)	5区(3%)	6区(5%)	7区(5%)
①西脇工	2・7・34	⑤加藤淳 30・25	②赤沢 8・35	①苗村 25・17	②西村 24・19	②上村 8・54	②安田 15・51	①藤田兼 14・59
②須磨学園	2・7・41	③堀尾 30・7	③小林 8・53	②岩見 25・39	①福田 23・49	②山本 9・2	①賀集 15・1	②酒井 15・10
③報徳	2・8・52	②中園 30・5	①河合 8・39	②菊池 25・51	③中川 24・14	③平田 9・26	③高瀬 15・25	③今井 15・12
④姉磨工	2・10・40	⑨下川 30・47	⑦前田 8・50	④郡 26・13	④後尾 24・55	④河津 9・12	④谷 15・25	④山口 15・18
⑤三木	2・12・57	⑧楠 30・36	⑤宮本 9・0	⑥稲場 26・44	⑥上村宗 24・56	⑤奥田 9・35	⑦戸田 16・8	⑦藤原 15・58
⑥姫路商	2・13・7	⑩塚本 30・54	⑩小林 9・12	⑤八木 26・31	⑤藤岡 24・30	⑥山端 9・47	⑤松岡 16・1	⑨水谷 16・12
⑦須磨友が丘	2・13・22	⑦大浜 30・36	⑥岡田 9・1	⑩杉谷 26・56	⑦藤本 25・24	⑦山本 10・5	⑤松本 15・38	⑥小田原 15・42
⑧県西宮	2・14・30	⑥広 30・26	⑤藤藤 9・4	⑦徳丸 26・53	⑩阪本 26・15	⑤山下 9・29	⑩吉田 16・21	⑧一色 16・2
⑨東播磨	2・15・25	①森田 30・4	④三浦 9・13	⑤有馬 26・56	⑩三浦智 26・8	⑨杉本 10・7	⑨佐伯 16・11	⑧前田 16・46
⑩洲本	2・17・39	⑦山内 32・26	⑩石本 9・19	⑥原田裕 26・36	⑧原田敬 25・44	⑩武田 10・5	⑩倉本 16・45	⑩落合 16・44
⑪加古川西	2・17・54	③石原 31・57	⑩田中 9・21	⑩柳谷 27・45	⑩豊田 26・28	⑩磯野 9・50	⑩吉田 16・19	⑩富崎 16・14
⑫市西宮	2・18・31	⑧妹尾 32・28	⑤西尾 9・18	⑩山田 27・22	⑩小林 26・31	⑦松谷 9・43	⑩山下 16・27	⑩桑原 16・42
⑬川西緑台	2・18・40	⑤塚本 32・7	⑩山本 9・36	⑩荒井 27・25	⑩山下 26・49	⑩山本 10・25	⑩池内 16・39	⑤古海 15・39
⑭津名	2・20・2	④坂東 30・17	⑩坂本恒 9・35	⑩神野 27・58	⑩三栗山 27・41	⑩坂本崇 10・5	⑩蛸磯翔 17・23	⑩蛸磯純 17・3
⑮兵庫	2・20・18	⑩井上 32・24	⑩渡辺 9・33	⑩棚田 28・4	⑩三谷 26・54	⑩横崎 10・9	⑩上 16・43	⑩神谷 16・31
区間1位		森田 智哉 30・4 (東播磨)	赤沢 健太 8・35 (西脇工)	苗村 隆広 25・17 (西脇工)	福田 兼士 23・49 (須磨学園)	上村 亮太 8・54 (西脇工)	賀集 豊大 15・1 (須磨学園)	藤田 兼至 14・59 (西脇工)

【16位以下】

⑯姫路西	2・20・29
⑰龍野	2・20・52
⑱明石城西	2・21・2
⑲神戸台	2・21・8
⑳夢野台	2・21・33
㉑兵庫工	2・21・38
㉒県農	2・22・28
㉓加古川東	2・22・30
㉔市西宮	2・22・56
㉕小野	2・23・28
㉖星陵	2・24・0
㉗御影	2・24・10
㉘三田洋基	2・24・14
㉙県尼崎	2・24・55
㉚北三田	2・25・33
㉛北三田	2・25・48
㉜八鹿	2・26・0
㉝水上	2・26・49
㉞夢野	2・27・19
㉟篠山鳳鳴	2・27・42
㊱佐々木	2・28・17
㊲宝塚	2・29・29
㊳豊岡	2・35・52

■ 県高校駅伝 ■

男子第69回、女子第31回兵庫県高校駅伝(神戸新聞社後援)は2日、篠山市の高校駅伝コースであり、男子は西脇工が4連覇を達成し、女子は西脇工が21年ぶりの頂点に立った。(1面参照)終盤まで2校が熱戦を繰り広げた男子は西脇工がアンカー勝負を制し、2時間7分34秒で23度目の栄冠に輝いた。須磨学園が2位、報徳が3位、姉磨工が4位だった。5位三木は2年ぶり、6位姫路商は3年連続で近畿大会の出場権を得た。

女子の西脇工は1区から4連続区間賞を奪い、1時間9分43秒で5度目の優勝を飾った。21連覇を狙った須磨学園は2位。姫路商が3位、須磨友が丘が4位と続いた。2年連続7位だった三木が5位で3年ぶり、県西宮は6位で2年ぶりに近畿大会へ駒を進めた。

(天候曇り、気温18.5度、湿度85%、西の風2.8m/秒午前10時10分現在)

(第3種郵便物認可)

神戸新聞

2014年(平成26年)11月3日 月曜日

女子

校名	総合時間	1区(6%)	2区(4.0975%)	3区(3%)	4区(3%)	5区(5%)
①西脇工	1・9・43	①南 19・28	①高橋 13・5	①坂本 9・53	①大西 9・56	③村上 17・21
②須磨学園	1・10・59	②前畑 19・42	②康本 13・58	②秋山 9・56	②和田 10・2	③新立 17・21
③姫路商	1・12・51	③田淵 20・10	③原田 14・35	③中西 10・14	③森本 10・32	①小西 17・20
④須磨友が丘	1・13・52	⑧高谷 21・5	⑤三間 14・24	⑤藤岡 10・30	⑤宮本 10・33	①田中 17・20
⑤三木	1・14・4	⑤中田 20・26	④松井 14・47	④相田 10・22	④久戸 10・47	⑥金井 17・42
⑥県西宮	1・14・52	④森田 20・24	⑥糸田 15・19	⑦右田 10・56	⑥佐部利 10・33	⑤矢来 17・40
⑦加古川西	1・15・38	④村山 21・33	③落海 14・29	⑥久保 10・34	⑦古橋 10・39	⑨長谷川 18・23
⑧津名	1・16・43	⑩国賀 21・12	⑩下土井 15・5	⑩原 11・8	⑨堀川 11・1	⑧中西 18・17
⑨市西宮	1・17・1	⑦仲野 21・3	⑦竹内 14・48	⑧藤井 10・59	⑩狭間 11・22	⑤渡部 18・49
⑩川西緑台	1・17・50	⑨手嶋 21・11	⑨小城 14・58	⑩小沢 11・21	⑩前田 11・26	⑥藤井 18・54
区間1位		南 美沙希 〇19・28 (西脇工)	高橋 ひな 13・5 (西脇工)	坂本 菜矢 9・53 (西脇工)	大西 結菜 9・56 (西脇工)	小西 真子 17・20 (姫路商)
						田中 菜々 17・20 (須磨友が丘)

(注) 丸中数字は中継順位、数字は区間順位、○は区間タイ

【11位以下】

⑪加古川東 1・18・3	⑮夢野台 1・19・5	⑲明石城西 1・20・29	㉑市西宮 1・24・16
⑫長田 1・18・41	⑯姫路西 1・19・12	⑳神戸鈴蘭台 1・21・54	㉒篠山鳳鳴 1・24・34
⑬明石南 1・18・42	⑰県農 1・19・43	㉓八鹿 1・22・30	㉔北三田 1・25・2
⑭兵庫 1・18・58	⑱神戸 1・20・2	㉕宝塚 1・22・52	㉖村岡 1・27・42
⑮加古川北 1・19・4	⑳御影 1・20・19	㉗龍野 1・23・34	㉘豊岡総合 1・31・56

【評】女子は1年生3人を1、2、4区に起用した西脇工が21年ぶりに覇権奪還。1、4区で区間賞に輝くなど一度も首位を譲らず、21連覇を狙った須磨学園に1分16秒差の1時間9分43秒で完勝した。

1区南は後半にスパートして19分28秒の区間タイ記録で先制パンチを浴びせ、須磨学園と14秒差で滑り出した。2区高橋も13分5秒の好記録で宿敵に1分7秒の大差をつけ、3区坂本、4区大西もじわりと差を広げる盤石のレース展開だった。

須磨学園は1区前畑、2区康本の3年生2人がともに区間2位で流れをつくれなかった。1年生を配置した3、4区でも区間賞を西脇工にさらわれ、最後まで差を縮められなかった。

3位の姫路商は区間1位の5区小西を筆頭に、全区間で安定した走りを披露。須磨友が丘は区間賞の5区田中や2区間宮の踏ん張り、1区8位から4位に浮上した。

1区5位の中田を擁した三木、同4位の森口が引った須磨西宮と、1年生が快走した両校が5、6位。三木は3年ぶり、県西宮は2年ぶりの近畿大会出場切符をつかんだ。加古川西は第1回大会の2位に次ぐ7位に躍進。8位津名は12年ぶりに1桁順位入りした。